



Weekly Report



いい顔でロータリーを楽しもう

夢をかたちに

佐世保北ロータリークラブ 2008～2009年度 RI 会長 / 李 東建 地区ガバナー / 鈴木泰彦

会長/鳥越敏博 幹事/緒方信行 例会場/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店8Fカトレアホール（毎週月曜日）
 創立/1984. 4. 16 認証/1984. 5. 14 事務局/佐世保市島瀬町7番7号 西沢本店内 TEL 0956-22-7144 FAX 0956-22-1201
 E-mail office@sasebonorth.org Web http://www.sasebonorth.org

【本日】会員数45名 出席 22名 欠席 10名 出席免除会員出席 9名 ビジター 0名 出席率 75.61%
 【前々回】会員数45名 出席 26名 メークアップ 6名 出席規定除外 12名 修正出席率 97.62%

《会長挨拶》

鳥越敏博 会長



地区大会にご参加されました皆様、大変お疲れ様でした。私も会長として14, 15, 16日とフルに参加して参りました。

14日はRI会長代理で夫婦歓迎晩

餐会に、家内と出席して参りました。

アトラクションとして、ナターシャ・グジー コンサートがあり素晴らしい歌声に感激いたしました。

2日目は、午前中は会長・幹事会でみっちり勉強し、午後から本会議として、第三分科会（国際青少年交換留学生のススメ）に参加してきました。本会議後、懇親会が有りその日は終了いたしました。3日目、家内と私の母と三人で、森山良子コンサートにて楽しい時間を過ごさせていただきました。

ホストクラブである南クラブの方々のお世話により素晴らしい地区大会が開催されたと思っております。

《幹事報告》 緒方信行幹事

1. 来 信

・地区大会 事務局

地区大会記念懇親ゴルフ大会 競技会順位表

・佐世保市役所 文化交流課

中国廈門市訪問団 歓迎夕食会などの開催について

1. 白鷺像除幕式

日 時：11月27日（木）10：00～（受付9：40～）

場 所：ポートサイドパーク廈門園

2. 歓迎夕食会

日 時：11月27日（木）18：00～

場 所：アイトワ（福石町） 電話32-8118

会 費：6,000円

・叙勲褒章受章祝賀会事務局

叙勲褒章受章祝賀会のご案内

日 時：12月9日（火）午後6時30分

場 所：ホテル万松楼

会 費：6,000円

・東日観光

バーミンガム大会参加旅行募集案内送付のご案内

2. 伝達事項

11月27日（木）18:30～第5回理事役員会をホテルトリニティにて開催いたします。出欠は21日（金）までとなっておりますのでよろしくお願いいたします。

《委員会報告》 深町 等 米山カウンセラー

米山月間も過ぎまして辜さんの卓話依頼もたくさん参りました。近況を報告致します。

10月30日佐世保東RC、10月31日佐世保南RC、11月6日佐世保中央RC、11月13日伊万里西RCへ卓話に行参りました。また、先週の地区大会前の会長晩餐会では台中RC会長夫妻の通訳、11月2日には出島RCのボランティア活動等で活躍しました。

12月4日には平戸の見学会が予定されています。

《三分間情報》 宮原明夫ロータリー情報委員 ロータリー財団寄付について

1. 年次寄付

寄付の基盤で、使い道を指定することなく、ロータリー財団に寄付するもの。

3年後に、地区の年次総額の50%については、地区がその使い道を決定することができる。（Share System）

2. 恒久基金寄付（ベネファクター）

基金への寄付は投資され、その収益だけが財団プログラムの支援に使われる。

少なくとも1,000ドルを寄付した人は、ベネファクターの認証を受ける。

3. 使途指定寄付

あらかじめ使い道を決めて寄付するもの。代表的なものは、ポリオ・プラス。

★認証ポイント

・個人のポイント

個人で1,000ドルを年次寄付あるいは使途指定寄付するとポール・ハリス・フェローになる。
さらに200ドル寄付して累計1,200ドルになると、200ポイントの認証がつく。

・クラブのポイント

マッチング・グラントを申請して寄付すると申請クラブまたは地区にポイントがつく。
これらのポイントは会員に譲渡することが出来る。
(クレジット)

★大口寄付

年次寄付、恒久基金寄付、ポリオ・プラスの寄付の総額で1万ドルを超えると大口寄付者となる。(他の人から認証ポイントを受け取っていると差し引かれる)

★財団の友

年次プログラム基金へ毎年100ドル以上寄付すること

.....

《第3回クラブ協議会 地区大会報告》

地区大会 会長・幹事会 緒方信行幹事



鈴木ガバナーの今年度のテーマである「心を耕そう」に感銘を受けた。

今は、人が大切であり、いかに人づくりをするかだと思う。現代では、死語になりつつある言葉で「庭訓」

(ていきん) ー孔子の息子が庭を駆けめぐる時に孔子が教えた言葉として家庭教育、庭の教えーという言葉があるが、身近な場での家庭の教え、職場の中の人づくり、ロータリーにおいての人づくり、先輩から引き継いだ松明を消すことなく引き継いで、次の世代へ送って行かなければならない。

これからは、社会の変化に対応できるリーダーが必要で、若い人を育てていかなければならない。過去にプロ野球の星野仙一氏と施設を訪問した時に教えられたことがある。彼らのことを決して「かわいそう」とか「気の毒」とは思ってはいけな。常に平等で、友達関係でなければと。

奉仕をするにしても謙虚でなければならない。思いあがってはならないと思う。

第1分科会 宮崎有恒会員

「国際親善とは・・・」ロータリーの奨学金プログラムパネルディスカッション形式で地区の国際奉仕委員長始め 財団関係者4名に米山学友、米山奨学生、財団学友の3名で開かれました。

まずは3名の学友・学生より、ロータリーの支援で充実した生活を送る事ができたとの報告の後、地区の関係者による財団の仕組み、現状の話がありました。最近話題の2人目の女性宇宙飛行士「山崎直子」さんは1994～'95のロータリー親善奨学生です。

また、高度な英語力が必要なため応募が少ないとのことでした。なお、本分科会のSAAは当クラブの中島会員でした。

第2分科会 宮地正博会員

インターアクトクラブ活動報告

聖和女子学院がボランティアスタッフとして募金、チャリティー活動を行っている。

ローターアクトクラブ活動報告 (18～30才までの人)

人数 80人

例会 月2回

地区団体の活動

24時間テレビの募金活動

長崎クラブと合同で環境活動、清掃活動、マイハシ(自分の箸)エコバックの配布の運動をしている。

第21回ローターアクト研修会は来年2月長崎で開催される。

第3分科会 鳥越敏博会長

国際青少年交換留学生のススメに出席して参りました。最近では、世界中のクラブが高齢化し人数が減っている所も多く、なかなか受け入れ態勢ができないのが現状だそうです。それと留学生の質が以前と比べ落ちてきているのもひとつ要因となっているそうです。

今年、日本からの希望者がぎりぎりになって2人ほどあったそうですが、三人の留学生の体験報告の中で一番印象に残っているのが、フランスに留学した男子学生で、勉学に勤しんでいた様子が見受けられ、夢は国連で働きたいとのことでしたので、それが実現すると思いました。

第四分科会 西川正美会員

第四分科会は、ロータリーの友編集長の「二神典子」さんの講演でした。

テーマは三つでした。一つは「ロータリーを知り、ロータリーを知ってもらおう」二つ目は「ロータリーの紋章について」三つめは「如何にしたら、友に記載してもらえるか」

内容は語ろう会と言う事で二神さんは私は司会ということで、一対一のインタビュー形式で始まりました。

いかにして、ロータリーを広報するか、また分かりやすく知らせる為には自分自身がロータリーを良く知らなければ知らせることが出来ない、たとえばポリオ撲滅の基金は今までに国際ロータリーとして、幾らの金額を集めたか現在のクラブ数、会員数などそのような情報は、友を読んでいただければわかります。とマンツーマンのインタビューでした。

広報活動をするということは、自分たちのクラブや自分自身の活動を見つめなおしたり反省することによりクラブの活性化につながるのではないかとロータリアン自身がロータリーの事を知ることになるでしょう。

又、2740地区は、ロータリーの友に投稿が少ないワースト5の中に入るともいわれました。又紋章については、単独でのみ、徽章の使用が認められていて、ホームページの壁紙に使用などもってのほかと、このような使用のクラブが多いようだ。

とにかく、「ロータリーの友」はロータリアンの購読義務がある公式書籍であるから、縦書き、横書き関係なしによく読んでくださいとのこと。

《ハイライトよねやま》

寄付金速報 — 米山月間の結果 —

10月までの寄付金は、前年同期と比べて2.2%減、約1,180万円の減少となりました。普通寄付金が0.1%減、特別寄付金が3.7%減と7カ月ぶりに前年同期比減となりました。

今月の寄付累計額5億2千万円は、2006年度以降3カ年の中で一番少ない金額ではありましたが、この経済状況の中、学友や多くのロータリアンの方々からご寄付をいただき、ありがとうございました。

上期も残り2カ月を切りました。引き続き、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2009学年度奨学金申し込み状況

10月15日に締め切られた2009学年度の米山記念奨学金（学部・修士・博士課程奨学金、地区奨励奨学金）には、指定校から1,427名の応募がありました。

申込者を国・地域別にみると、中国が59.1%（前年度比+0.8%）、韓国11.4%（▲0.3%）、台湾6.0%（±0.0%）、その他が23.5%（▲0.4%）となり、課程別では、博士課程が26.2%（▲4.7%）、修士課程61.7%（+4.6%）、学部課程10.5%（▲0.5%）でした。

なお、「クラブ支援奨学金」には8地区17クラブから応募がありました。また、「地区奨励奨学金」は7地区11校の指定校に対し、すべての指定校から計23名の応募がありました。

11月13日に当会事務局から各地区へ応募書類を発送します。

その後、11月下旬～1月下旬にかけて地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、2月中旬には新規採用者609名（2008年11月現在）が決定します。

米国在住の学友から2年続けて1,000ドルの寄付

昨年10月、アメリカから1,000ドル（当時の為替レートで約11万2千円）の寄付を送ってくれた米山学友の張 虞安（チョウ・イウアン）さん（中国／1998-2000／近畿大学大学院）が、今年も世話クラブの交野RC（第2660地区）を通じて、1,000ドルを寄付してくれました。

これで累計が20万円を超え、第2回米山功労者マルチプルとなります。

昨年、「恩返しのために米山奨学会の寄付金を増やす

のは、私が一生をかけて目標とすることの一つです」と語った張さん。今回の気持ちは次のように語ってくれました。

.....

【張さんからのコメント】

.....

アメリカに来て8年、大学の研究室から民間の製薬会社に移り、知らず知らずのうちに人間のありきたりな欲求に従って働いていることがありました。例えば、金銭や昇格、永住ビザや車、美味しい食事や大きな家を得るためなどです。それらは、つかの間の幸せをもたらしてくれましたが、手に入れてしまえば次の幸せを得るまで、再び緊張や悲しみがやって来ました。

しかし今、私は途切れることのない充実感と幸せを感じています。

それは、周囲のすべての人に対して奉仕の気持ちを意識することで得られています。他者への奉仕と、自分の目標に対する努力によって、気持ちを高め、スムーズに進むことができるのです。

Service above Self! これは私にとって単なる言葉ではなく、精神そのものであり、幸せの源泉なのです。

ホームカミング制度で学友が続々と来日

ホームカミング制度は、今年度、新たに設立された学友の里帰り制度です。海外で活躍する学友を地区が招き、地区大会やクラブでその活躍を報告してもらうことにより、奨学事業の成果を多くのロータリアンに実感してもらうことを目的としています。

先月、第2500地区（北海道東部）の招きで最初に来日した肖 寧（シャオ・ニン）さん（中国／2005-06／旭川RC）は、四川省疾病対策センターの副所長として、四川省大地震発生後、被災地で感染症予防のための活動に尽力し、先頃、中国政府から表彰されたことを報告しました。

《ニコニコBOX》 吉澤俊介 親睦活動委員

鳥越敏博会長 緒方信行幹事

- ①地区大会にご参加の皆様、大変お疲れさまでした。RI会長代理歓迎晩餐会から、本会議、懇親会、森山良子コンサート、ルー大柴を迎えてのパネルディスカッションと良い思い出となりました。
- ②本日はクラブ協議会です。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。
- ③カラオケ同好会の皆さん、頑張りましょう。

村上寅雄君 田島勝明君 小西宗十君 藤井良介君
吉澤俊介君 鈴木正昭君 棧 護君 西川正美君
二ノ宮健君 大鳥居 宏君 深町 等君

地区大会出席の皆さま、ご苦労さまでした。本日の協議会、緒方幹事はじめ発表の皆さま、お疲れ様です。

本日の合計 15,000円

累計 639,000円

クラブ会報委員会 委員長 / 永田武義

委員 / 小西宗十

須田 昇

西川正美

中島閏二

（記事担当者 永田武義）